

旭川建設業協会戦略ビジョン 一地域と共に一 概要

- ◆ 東日本大震災を契機に社会基盤と建設業の役割に対する国民の関心が高まる中、地域を支え、地域と共に歩んできた産業として、上川の特性と特徴を踏まえ、今後のあり方を戦略ビジョンとして策定

I. 課題と方向性

社会環境(8ヶ) 市場環境(10ヶ) 企業環境(15ヶ) 地域環境(17ヶ)

- 地域の衰退と積雪寒冷地におけるインフラの不足
- 食、観光、エネルギーといった北海道のポテンシャルを引き出すための投資は我が国の課題解決と発展に寄与
- 上川は食と観光で北海道の中心的な役割を担える地域
上川の産業が力強さを得ることで『北海道力』はアップ
- 建設業は地域の安心と安全に欠かせない存在

II. 基本方針(21ヶ)

III. 活動戦略 (22ヶ)

IV. 活動戦術 (27ヶ)

4つのキーワード

協働

- ◆ 安心と安全の確立
- ◆ 活力ある地域 (22ヶ)
- ◆ 他産業との共生

- 防災訓練・教育実施協力
- インフラの適切な維持管理の研究
- 地域資源の活用検討
- 地域貢献活動の効果的な展開
- 新たな事業・産業の創出

連携

- ◆ 国との連携 (24ヶ)
- ◆ 自治体との連携

- 防災協定や災害時の緊急出動
- インフラの計画的な整備推進要望
- 適正な維持や除雪体制確立協議
- 公共事業の多面的効果の検証要望
- 地域建設業育成政策の確立要望

協調

- ◆ 建設業の社会的地位確立 (25ヶ)
- ◆ 戦略ビジョンの実践

- コンプライアンスの徹底
- 会員企業のBCP策定支援
- 会員企業への積極的な情報発信
- 良質な社会資本整備促進要望
- ビジョン実践に向けた協議機関設置

再生

- ◆ 魅力ある建設産業へ (26ヶ)
- ◆ 新たな市場開拓

- M & Aなどの企業存続の研究
- 海外とのビジネスマッチング展開
- 「建設版地産地消」の実践
- 新たな事業立ち上げの支援
- 職人の地位向上への取り組み

まとめ (31ヶ)

『コンクリートが命を支える』との理念を持ち、積極的な提案・提言を行い、誰もが安心して暮らすことのできる国土づくりと、活力にあふれ魅力ある地域の創造に向けた取り組みを地域と共に展開していく

一般社団法人 旭川建設業協会 管内図

北海道のほぼ中央に位置し、地形は南北に細長く、222.4km、面積は10,619km²で全道の12.7%を占めています。

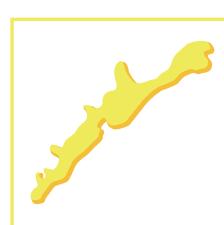
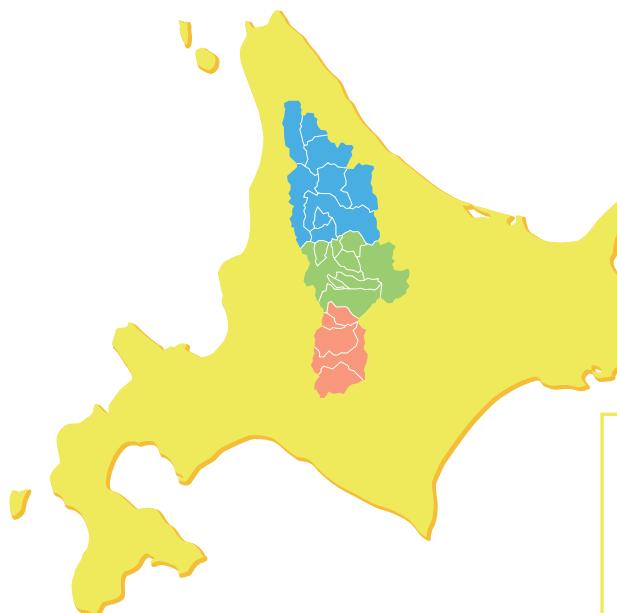
(一社)旭川建設業協会市町村別会員数

圏域	市町村名	正会員	準会員	合計
北部	土別市	7	4	11
	名寄市	4	4	8
	和寒町	2	1	3
	剣淵町	0	1	1
	下川町	2	1	3
	美深町	1	1	2
	中川町	1	2	3
	幌加内町	0	2	2
	音威子府村	0	0	0
	小計	17	16	33
中部	旭川市	39	22	61
	鷹栖町	1	0	1
	東神楽町	0	2	2
	当麻町	0	4	4
	比布町	0	0	0
	愛別町	0	1	1
	上川町	0	3	3
	東川町	1	0	1
	美瑛町	2	1	3
	小計	43	33	76
南部	富良野市	1	6	7
	上富良野町	1	1	2
	中富良野町	0	0	0
	南富良野町	0	0	0
	占冠村	0	1	1
	小計	2	8	10
合計		62	57	119

※会員数は2012年10月1日時点

※上記以外に管外準会員として31社がいる

※ピーク時の会員数(正会員)は1993年の101社



面積	10,619km ²
人口	520,884人
世帯	225,663世帯

平成22年10月1日現在、国勢調査より

上川総合振興局管内

